

令和8年度 第1回大阪府立狭山池博物館運営審議会 議事要旨

日 時 : 令和8年7月16日(木) 16:00～17:45

場 所 : 大阪府西大阪治水事務所

出席者 : 委員) 磐下委員・岡田委員・金田委員・佐伯委員・澤柳委員・中川委員・
向山委員 [会長]・森委員・和田委員(Web 参加) 計9名

【内容】

① 会長の選任について

向山委員が会長に選任された

② 令和3年度の最終答申後の成果指標の報告について

『中長期に向けた取組み/継続的な運営マネジメント/効率的・効果的な運営について』の報告を行った。

【概要】

(資料に基づき、事務局より説明)

【主な意見】(○: 委員、●: 事務局)

1. 中長期に向けた取組みについて

○昨年度参加された万博の取組について、半永久的にプラットフォーム等で情報発信したらよいのでは。

○府の登録文化財としての登録による発信力ほどの程度を期待できるか。

●府の登録文化財は昨年より始まったため、発信力の効果は不透明。

○ボランティア活動に関して、具体的にどういった活動をしているか。

●博物館内を案内、休日の館内解説等の館内での活動から狭山池の池底、堤体一周など近隣施設（さやりん Base、地区会館、小学校）へ出張し、博物館の説明やイベント等の実施などを行っている。

○子どもや海外客が理解できる説明環境が必要では。

●小学生などの子どもに対し、ブースごとで紙芝居や絵を用い、ボランティアが分かりやすい説明を心がけている。また、海外からの客に対し、対面での対応は現状難しいが、よく受ける質問の回答をまとめた多言語の冊子を用意している。

○ボランティアの高齢化が顕著であるため、若年層を取り込む方法を検討していく必要があると思う。

●近隣の大学・高校へチラシ等で周知を行っている。

2. 継続的な運営マネジメント/効率的・効果的な運営について

○来館者数10万人という目標はよいが、そのターゲット設定が大事。誰にどんな価値を提供していくかを整理したうえで、どのようなプロモーションを発信するかを検討する必要がある。

- イベントや季節ごとのターゲットの設定は必要と考えているため、今後ターゲットの整理を進めていく。
- リピーターを増やしていくことも大切であるため、分析を行い、リピーター率の増加を目指した方がよい。
- 来館者のニーズを満たしたうえで、博物館として伝えたいことをバランスよく発信していくことが大事である。
- 来館者の属性（国別、地域、年齢、目的など）を把握し、適切な施策を考える方がよい。
- 整備された福池や狭山池遊歩道、周辺施設（コメダ珈琲店等）から博物館への来館者の動線についてと工夫点があれば示してほしい。
- 狭山池改修に貢献した歴史的な人物についての発信を深めるべき。特にイベントに取込むことも検討した方がよい。
- 大型イベントの連携を検討した方がよい。
- シーズンごとに来館を増やす施策を検討してはどうか。
- 使用料見直しや新たな営利料金について、今後の目標を明確にした方がよい。

以上